



平成27年度 秋田県総合教育センター
総合教育センターだより

第147号
 2015年9月4日発行
 〒010-0101 湯上市天王字追分西29-76
 TEL 018-873-7200 (代表)
 http://www.akita-c.ed.jp

第30回秋田県教育研究発表会 分野別研究発表者を募集します!

秋田県総合教育センターでは、本県教育の振興を目指して、県内の幼稚園・保育所・認定こども園等、各学校、教育機関等における教育研究成果の普及と交流を図るために、発表会コンセプト「郷土あきたの教育への提案」の下、次のとおり「第30回秋田県教育研究発表会」を開催いたします。

〈 期 日 〉 平成28年2月4日(木)～5日(金)

〈 会 場 〉 秋田県総合教育センター



開催にあたり、次のとおり発表者を募集していますので、奮ってご応募ください。

発表内容

- | | | |
|---------|-----------------|----------------------|
| ① 学校運営 | ② 教科指導 | ③ 教科外指導(道徳・特別活動等) |
| ④ 生徒指導 | ⑤ 情報教育 | ⑥ 特別支援教育 |
| ⑦ 就学前教育 | ⑧ ふるさと教育・キャリア教育 | ⑨ その他教育に関すること(環境教育等) |

発表者資格

県内の幼稚園・保育所・認定こども園等、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員及び教育機関の職員のうちで次のいずれかに該当する方

- ① 発表を希望し、所属長の推薦を受けた方
- ② 秋田大学等における大学院派遣研修生及び修了された方
- ③ 各地区の教科研究会等での発表者で、会長及び所属長の推薦を受けた方

発表形式

「口頭発表」と「ポスター発表」の2つの発表形式により発表者を募集しますが、**教育現場での汎用性がある研究発表を基本とし、発表のまとめが「提案を基調とする内容」となるような形をお願いします。**

発表の申込について

発表を希望する方は、所定の様式により電子メールで申し込んでください。

- ◆ 申込書は、当センターのホームページからダウンロードできます。
- ◆ 申込期限 **平成27年10月9日(金)**
- ◆ 申込・問合せ先 総合教育センター

教科・研究班 熊谷 禎子・黒澤 望

TEL:018-873-7203 E-mail:happy@akita-c.ed.jp



教育研究発表会参加申込の受付は、12月上旬からです

第30回秋田県教育研究発表会「第2次案内」を、12月上旬に当センターホームページに掲載します。参加申込受付はそれ以降となりますので、今しばらくお待ちください。なお、上記「分野別研究発表」の他、「センター研究発表」「パネルディスカッション」「講演」など、参会者が県内外における様々な教育実践や教育研究に触れるとともに、実践を紹介し合う内容となっています。

★詳しくは、当センターホームページのトップページ「秋田県教育研究発表会」→「第30回秋田県教育研究発表会(1次案内)PDF版」をご覧ください。



公開講演紹介



今、求められる道徳教育の充実～特別の教科道徳の実施に向けて～

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 赤堀 博行 氏

この3月27日に学習指導要領の一部が改正され、道徳の教科化という大きな転換期を迎えました。この度、改正を担当された、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の赤堀博行氏を7月28日(火)にお招きし、改正に至るまでの経過、改正の趣旨と内容、教育活動全体で行う道徳教育の進め方について、豊富な経験を基にした幅広い観点から御講演をいただきました。



講演の主な内容

- ・学校における道徳教育は、教科や日常の生徒指導で行われる道徳的実践の指導と、道徳の時間で行われる内面的資質の育成の両方で行われるものである。道徳の時間は、ことわざの「急がば回れ」の意味のように、子供の行動にすぐに結び付くことを目的とするものではなく、将来出会うであろう様々な場面や状況において、適切な行為を自ら選択し実践することができるような資質を育てる時間である。
- ・普段何気なく行っている各教科等の指導の中に、道徳性を養うための視点が隠れているため、それを意識して指導していくことで道徳教育を行っていく。

実践例を交えた説明は大変分かりやすく、日々の授業や新しい道徳の形に不安を抱いていた先生方にとって、今後の指導力や道徳教育に取り組む意欲の向上につながる、大変有意義な御講演でした。

「指導に思いを込める」というお言葉のように、日々の道徳教育、道徳の時間に大切に取り組もうと、気持ちを新たにしました。

受講者の感想より

- ・道徳教育実践の具体的事例を示しながらのお話はとても分かりやすく改めて勉強になりました。夏休み明けからの実践に生かしていきたい思います。(小学校教員)
- ・副読本や「わたしたちの道徳」の活用の仕方や様々な授業実践例も聞くことができさっそく実践してみたいと思いました。(小学校教員)
- ・全面実施に向けて改正の趣旨や内容の理解が進みました。自校の道徳教育の目標を自覚して教育活動全般に生かしていくことが大切だと改めて認識しました。(中学校教員)



星の観察教室へのご来場 ありがとうございました

8月7日(金)、総合教育センターで「星の観察教室」を開催しました。受付開始後まもなく定員に達したプラネタリウムでの学習会を始め、星座早見盤の製作や天体シミュレーションの体験などへ、昨年度の来場者数をはるかに上回る、約260名の方々にお越しいただきました。

今年は好天に恵まれ、大型天体望遠鏡での星空観察会には長蛇の列ができました。また、惑星の重さを疑似体験するコーナーでは、自分の体重よりはるかに重い砂袋と格闘する子どもたちの姿が見られました。



来場者アンケートより

- ・天体望遠鏡で、土星を観察できてよかった。
- ・クイズや展示が勉強になって、楽しかった。
- ・どのコーナーも、楽しく参加できました。
- ・年に数回、星空観察会があると嬉しいです。
- ・他の季節にもやってほしい。



惑星の重さを疑似体験！



シミュレーターで宇宙旅行



「土星の輪が見えるよ！」

また来てね。



総務課 広報課

「プラネタリウム教室」は、12月にも実施いたします。詳細は、次号の「総合教育センターだより」でお知らせいたします。